

栽培棟A		温室本体		
項目	設計・工事内容		特記事項	
1. 規模	棟数	1棟		
	間口	12m×8連棟=96m		
	奥行	228m変形		
	軒高	基礎高0.2m+柱高5.000m=5.200m		
	面積	16,992㎡ (5149.1坪)		
2. 基本構造	型式	高軒高フェンロー型ハウス (軽量鉄骨造)		
	基礎	独立基礎466基		
	屋根勾配	5/10		
3. 主要骨材	柱・合掌	□150×100×4.5 溶融亜鉛メッキ処理		設計条件 耐積雪30cm
	柱ブレース	M16 ターンバックル付 溶融亜鉛メッキ処理		
	屋根ブレース	Φ8.2 ターンバックル付 溶融亜鉛メッキ処理		
4. 基礎	独立基礎	コンクリート Fc=18N/mm ² ベース□1200×150 立上り□250×300×650 アンカーボルト M16		
5. 垂木材	屋根垂木	アルミ材 800mmピッチ		
	妻・桁下垂木	アルミ材 500mmピッチ		
6. 被覆材	屋根	エフクリーンGR80 0.1mm		被覆材のエフクリーンは、一部ソフトシャイン、グレーを展開する。 屋根には鳥よけ対策を施すこと。
	妻上面	エフクリーンGRナシジ 0.08mm		
	下部	カゲナシ5 0.15mm 開口部 (防虫網2×4mm目合)		
	側面上部	エフクリーンGRナシジ 0.08mm		
	下部	カゲナシ5 0.15mm 開口部 (防虫網2×4mm目合)		
	天窓	エフクリーンGR80 0.1mm		
	妻・側腰廻	カラートタン白 W=600		
7. 換気	天窓換気	自動開閉 プッシュ&プル方式		
	側窓換気	自動開閉 自動巻上式2段		
8. 建具	出入口妻面	電動シャッターW4000×H3000 2ヶ所、W4000×H4000 4ヶ所 シートシャッターW4000×H3000 2ヶ所、W2000×H1900 3ヶ所 手動シャッターW2000×H2000 3ヶ所 アルミ入口戸W1600×H2000×2 1ヶ所		

*詳細につきましては、別紙図面をご参照下さい。

栽培棟A		付帯設備	
項目	設計・工事内容		特記事項
9. カーテン	天井	ラックカーテン1層 テンバ5557D	
	妻・サイド	自動巻上式2段 P00. 1mm	
10. 暖房		ハウスカオンキHK6027TEV（特殊上吹き仕様）（感震器含む） 5基 オイルタンク（重油用）1900L 5基	厳寒期にハウス内温度を7℃保つこと。
11. 炭酸ガス		グロウェア CG-854T2（不完全燃焼警報器、感震器含む） 5基 オイルタンク（灯油用）200L 5基	
12. 水耕設備	メインユニット	らくらく肥料管理機4（循環タイマー制御、肥料定量注入ポンプ）	養液数値は、管理棟にて確認出来る仕様にする こと。 各エリアにホースカランを 設置する。
	フィルター	サンドフィルター、ディスクフィルター	
	タンク	肥料タンク（原液）3000L 3ヶ、各系統肥料タンク45L 9ヶ 貯水タンク管理用ハウス（7m×12m）、貯水タンク55t	
	栽培層	水耕シート（プール面積13568㎡）、パネル仕切り	
	除鉄・除マンガン	井戸水の数値により各社設計	
13. プール加温設備		ハウスボイラHB-4007TA（感震器含む） 3基 オイルタンク（重油用）1900L 6基、プール内ステンレス配管	夏場、冬場共に20℃を維持すること。切替可能 にすること。
14. ミスト設備		湿度制御 フィルター（120、300メッシュ） ステンレス管（13φ）、ノズル（100cc）	
15. 循環扇設置		循環用ファン67台（到達距離32/30m相当）	
16. 土間コンクリート		Fc=18N/mm ² t=120mm 溶接金網6×150×150、RC-40	
17. プール区画割り		Fc=18N/mm ² RC-40 鉄筋D10	
18. 雨水処理設備		U型側溝、溜樹設置	

*詳細につきましては、別紙図面をご参照下さい。

栽培棟B		温室本体		
項目			設計・工事内容	特記事項
1. 規模	棟数	1棟		
	間口	12m×12連棟=144m		
	奥行	112m変形		
	軒高	基礎高0.2m+柱高5.000m=5.200m		
	面積	11,760㎡ (3563.6坪)		
2. 基本構造	型式	高軒高フェンロー型ハウス (軽量鉄骨造)		
	基礎	独立基礎347基		
	屋根勾配	5/10		
3. 主要骨材	柱・合掌	□150×100×4.5 溶融亜鉛メッキ処理		設計条件 耐積雪30cm
	柱ブレース	M16 ターンバックル付 溶融亜鉛メッキ処理		
	屋根ブレース	Φ8.2 ターンバックル付 溶融亜鉛メッキ処理		
4. 基礎	独立基礎	コンクリート Fc=18N/mm ² ベース□1200×150 立上り□250×300×650 アンカーボルト M16		
5. 垂木材	屋根垂木	アルミ材 800mmピッチ		
	妻・桁下垂木	アルミ材 500mmピッチ		
6. 被覆材	屋根	エフクリーンGR80 0.1mm		屋根には鳥よけ対策を施すこと。
	妻上面	エフクリーンGRナシジ 0.08mm		
	下部	カゲナシ5 0.15mm 開口部 (防虫網2×4mm目合)		
	側面上部	エフクリーンGRナシジ 0.08mm		
	下部	カゲナシ5 0.15mm 開口部 (防虫網2×4mm目合)		
	天窓	エフクリーンGR80 0.1mm		
7. 換気	妻・側腰廻	カラートタン白 W=600		
	天窓換気	自動開閉 プッシュ&プル方式		
8. 建具	出入口妻面	電動シャッターW4000×H3000 2ヶ所、W2000×H3000 2ヶ所		
		シートシャッターW4000×H3000 2ヶ所、W2000×H3000 2ヶ所		
		手動シャッターW2000×H2000 2ヶ所		

*詳細につきましては、別紙図面をご参照下さい。

栽培棟B		付帯設備	
項目	設計・工事内容		特記事項
9. カーテン	天井	ラックカーテン1層 テンバ5557D	
	妻・サイド	自動巻上式2段 P00. 1mm	
10. 暖房		ハウスカオンキHK6027TEV（特殊上吹き仕様）（感震器含む） 4基 オイルタンク（重油用）1900L 4基	厳寒期にハウス内温度を7℃保つこと。
11. 炭酸ガス		グロウェア CG-854T2（不完全燃焼警報器、感震器含む） 4基 オイルタンク（灯油用）200L 4基	
12. 水耕設備	メインユニット	らくらく肥料管理機4（循環タイマー制御、肥料定量注入ポンプ）	養液数値は、管理棟にて確認出来る仕様にする こと。 各エリアにホースカランを 設置する。
	フィルター	サンドフィルター、ディスクフィルター	
	タンク	肥料タンク（原液）3000L 3ヶ、各系統肥料タンク45L 9ヶ 貯水タンク管理用ハウス（7m×12m）、貯水タンク55t	
	栽培層	水耕シート（プール面積9664㎡）、パネル仕切り	
	除鉄・除マンガン	井戸水の数値により各社設計	
13. プール加温設備		ハウスボイラHB-3007TA（感震器含む） 3基 オイルタンク（重油用）1900L 6基、プール内ステンレス配管	夏場、冬場共に20℃を維持すること。切替可能 にすること。
14. ミスト設備		湿度制御 フィルター（120、300メッシュ） ステンレス管（13φ）、ノズル（100cc）	
15. 循環扇設置		循環用ファン49台（到達距離32/30m相当）	
16. 土間コンクリート		Fc=18N/mm ² t=120mm 溶接金網6×150×150、RC-40	
17. プール区画割り		Fc=18N/mm ² RC-40 鉄筋D10	
18. 雨水処理設備		U型側溝、溜樹設置	

*詳細につきましては、別紙図面をご参照下さい。

栽培棟A・B		共通付帯設備	
項目	設計・工事内容		特記事項
1. 複合環境制御	天窗	A棟8系統/B棟4系統	左記、系統数により管理することとする。 ハウス内データは、管理棟内でモニタリング出来る仕様にする。
	側窓	A棟12系統/B棟6系統	
	カーテン、内張り	A棟8系統/B棟4系統	
	暖房	A棟2系統/B棟1系統	
	炭酸ガス	A棟2系統/B棟1系統	
	ミスト	A棟1系統/B棟1系統	
	循環扇	A棟2系統/B棟1系統	
2. 電気	高圧受変電設備	キュービクル屋外設置	
	照明器具	出荷調整エリア、保冷库、通路、庇	
	その他	各種機器配線工事、業務放送設備設置等	
3. 防除設備設置		移動ブーム走行仕様 動力噴霧ユニット、薬液タンク、給水量設定器 各9式	
4. 育苗ハウス	7.4m×11.4m	育苗用ベンチ（棚用ローラー）設置	
	84.36㎡	LED照明設置	
5. 外構	外周	敷地外周フェンス855m	
	門扉	自動伸縮ゲート12m 2ヶ所、6m 1ヶ所、フェンス門扉5ヶ所	
	その他	警備BOX設置、搬出入路アスファルト・コンクリート仕上げ、砕石敷	
6. 防犯設備設置	セコム	管理棟	
	防犯センサー	ハウス外周防犯センサー	
7. 機器設備		出荷調整、スペーシング、定植、洗浄、播種、倉庫、保冷库エリアにおいて使用する機器、オリコン、パレット等。	
8. 井戸		地下部100m想定（2ヶ所）	
9. 栽培管理棟		527㎡	

*詳細につきましては、別紙図面をご参照下さい。